

御庵遺跡 第46地点

遺跡名	御庵遺跡
よみがな	ごあんいせき
調査地点	第46地点
主な時代	縄文時代前期（約5500年前）
調査地	富士見市鶴馬2丁目3089-1、3103-1
調査面積	3847.31㎡
調査期間	令和2年9月14日～10月6日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代前期竪穴住居跡2軒、集石1基</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代前期土器、石器</p> <p>【概要】</p> <p>御庵遺跡は武蔵野台地縁辺部、富士見江川とその支流である権平川に挟まれるように立地し、鶴馬2丁目の来迎寺の西側に広がっています。</p> <p>これまでの調査で、縄文時代早期～中期、平安時代、中・近世の遺構が確認されています。なかでも縄文時代前期の住居跡は多数見つかっており、現在よりも海水面が上昇していた当時は、広がる浅海と河口に面した集落があったと考えられます。本地点で検出された2軒の住居跡も、その集落跡の1部と捉えることができます。その他にも、縄文時代中期の調理施設である集石が1基、確認されました。</p>



竪穴住居跡内の遺物出土状況



竪穴住居跡の完掘状況



縄文時代前期の土器の出土状況



集石の断面の様子